タワーウォール

P-125TW

＜水平荷重 1G 施工要領書＞

OKUJU
Space Creator

株式会社オクジュー
技術室

＜ P-125TW 壁高さ最大10m可能な軽鉄間仕切壁 ＞

従来の軽鉄間仕切材は下地幅100㎜ではスタッドピッチを狭くする等の対応をしても、壁高さ7mが強度上の限界であり、7mを超えた場合リップ溝型鋼や角パイプ等で補強しなければなりませんでした。
P-125TWを使用する事により、補強材なしに最大10mまで施工する事が可能になりました。
劇場、映画館、工場、スーパー等、壁高さを必要とする用途に適します。

本書は、大地震時を想定した水平荷重1Gの仕様を記述しています。

1, 水平荷重 1G での仕様

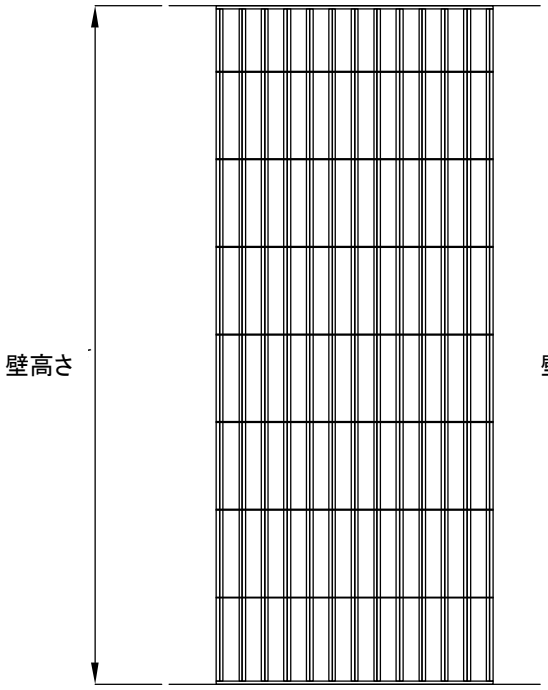
a, スタッド P-125TW 板厚 t=0.8㎜ を、@227.5㎜～455㎜のピッチで使用する。
※ 必ず、スラブ to スラブ固定で使用する事。(天井下地固定不可)
※ 最大壁高さ…10m (壁仕上材、スタッドピッチにより変わります)

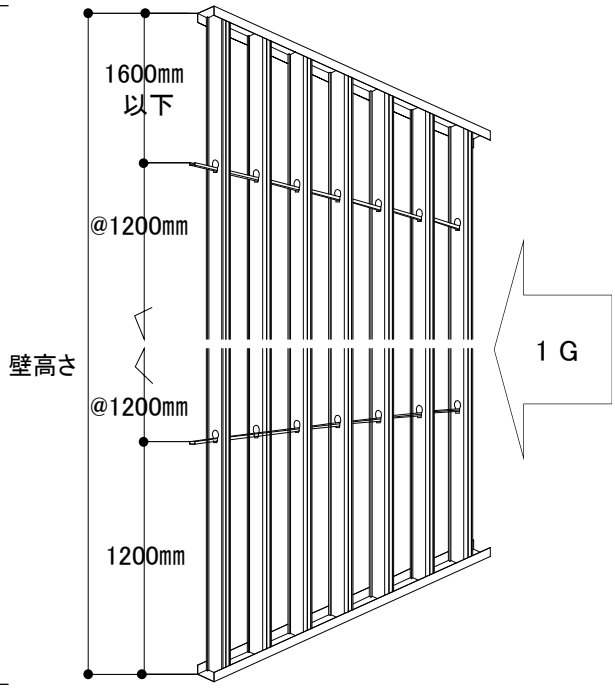
b, 壁自重に対する水平荷重 1G での、スタッドピッチによる制限高さを下記の表に定める。

＜表 1＞

スタッドピッチ	壁自重に対する制限高さ							
	GB-F t21＋21 片面張り 393N/㎡(40kg/㎡) ＜Sウォール 等＞		GB-F t12.5＋12.5 両面張り 450N/㎡(46kg/㎡) ＜S12 等＞		GB-F t15＋15 両面張り 525N/㎡(54kg/㎡) ＜B15 等＞		GB-F t21＋21 両面張り 714N/㎡(73kg/㎡) ＜A21 等＞	
	壁高さ	たわみ量	壁高さ	たわみ量	壁高さ	たわみ量	壁高さ	たわみ量
@455㎜	8.0 m	94.2 ㎜	7.3 m	77.1 ㎜	6.8 m	68.2 ㎜	5.8 m	49.4 ㎜
		L/84		L/94		L/99		L/117
@303㎜	9.0 m	104.9 ㎜	8.8 m	112.7 ㎜	8.0 m	89.6 ㎜	7.0 m	71.3 ㎜
		L/85		L/78		L/89		L/98
@227.5㎜	10.0 m	125.1 ㎜	10.0 m	145.9 ㎜	9.3 m	129.3 ㎜	8.0 m	93.4 ㎜
		L/79		L/68		L/73		L/85

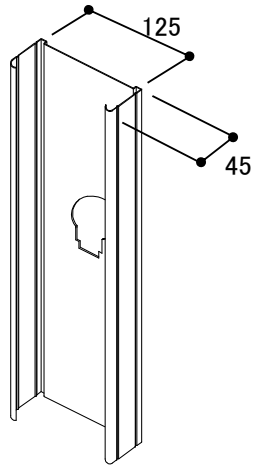
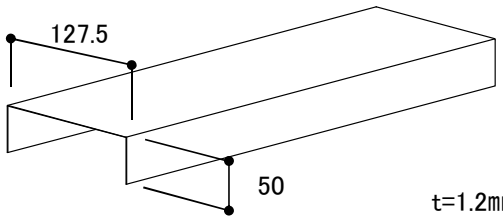
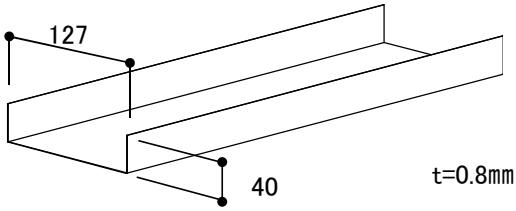
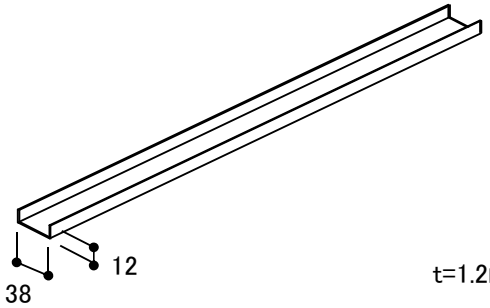
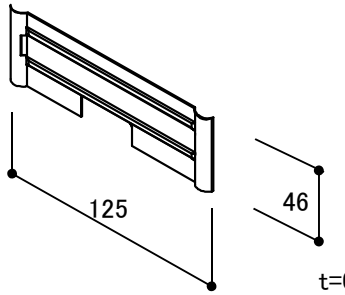
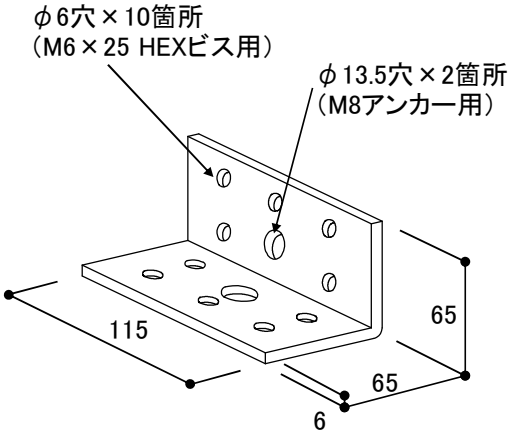
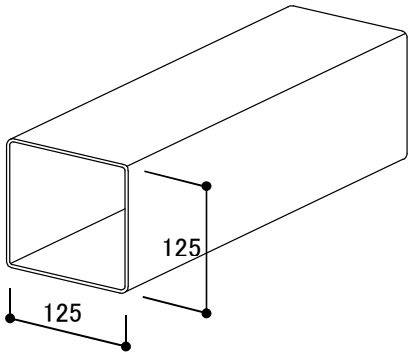
※ 現場の設定条件により強度検討が必要です。
※ 当社の制限高さは曲げ許容強度以下とし、たわみ量は参考値です。
※ 1G負担時は、ボードのクラックが発生する可能性があります。
※ 商品例は、吉野石膏(株)のものを記載しています。





株式会社オクジュー
技術室

2, タワーウォール　125TW用　主要部材一覧

スタッド・ランナー	P-125TW	Pランナー125T （上部用:t1.2mm）L=4000mm Pランナー125U （床面用:t0.8mm）L=4000mm
	 t=0.8mm	 t=1.2mm  t=0.8mm
胴縁・クリップ	N-38×1.2 L=4000mm	PMクリップ125
	 t=1.2mm	 t=0.8mm
開口補強材	NWD-W125 （取付金物）	□-125×125×3.2
	 t=6mm	 t=3.2mm

3, 各部位仕様

P-125TWは、板厚・材質・めっき付着量等はJIS A 6517に準じた仕様としている。
JIS規格外の高さを可能とするため、仕様を一部変更している。以下を、記述通り厳守すること。

a, ランナー固定

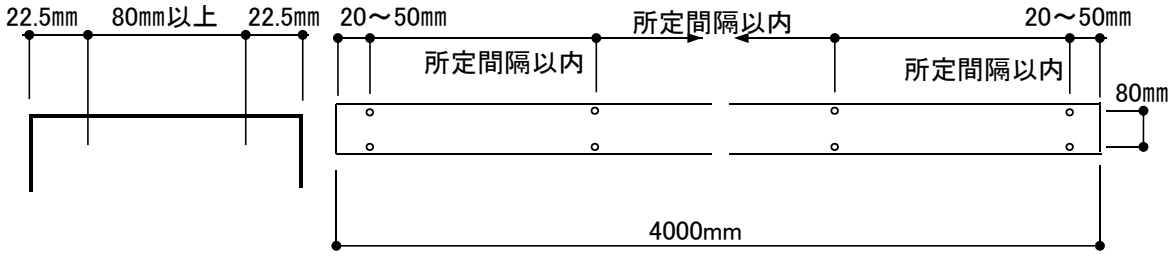
＜コンクリートへ固定する場合＞

コンクリートへの打ち込みピンは間隔を80㎜以上離し、2本/箇所を所定の間隔で
確実に固定する。

- ガス式打ち込みピン（例：ヒルティピン X-C 20 G3 MX）
- 電動式打ち込みピン（例：ヒルティピン X-C 20 B3 MX）

＜鉄骨先付金物へ固定する場合＞

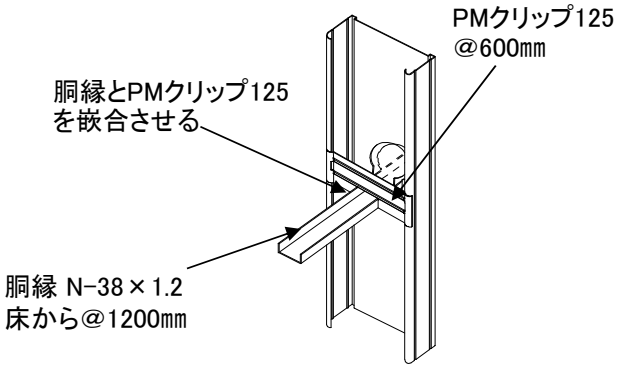
鉄骨先付金物に固定する場合は、ビスの間隔を80㎜以上離し、M4ビス以上を2本/箇所、
所定の間隔で確実に固定する。
デッキプレートの場合はリブをカットした状態で、打ち込みピンは2本/箇所を
所定の間隔で確実に固定する。
別紙「打ち込みピン＜P-125TW＞水平荷重1Gに対するランナー固定基準」参照。



b, 胴縁

- 胴縁は N-38×1.2㎜を、床から@1200㎜に取付ける。
  上部ランナーから400㎜以内に胴縁が位置する場合は、その胴縁は省略することができる。
  （Max 1600㎜）
- 間仕切材は、胴縁とスペーサー<PMクリップ125>を確実に嵌合させる。

**（注）（吉野石膏 Sウォールは認定上、胴縁を全て@1200㎜で取付ける。また
上部スラブから400㎜以下に胴縁が位置しても、省略することはできない仕様も
ある為、認定書を必ず確認する事。）**



打ち込みピン＜P-125TW＞水平荷重1Gに対するランナー固定基準

壁自重に対する水平荷重 1G を考慮した場合の、スタッド制限壁高さに対するランナーの固定ピッチを下記の表に定める。

＜ コンクリートに取付ける場合 ＞

・ガス式打ち込みピン（ヒルティピン X-C 20 G3 MX を使用　耐荷重 125T：1066N/本、125U：1066N／本）
・電動式打ち込みピン（ヒルティピン X-C 20 B3 MX を使用　耐荷重 125T：900N/本、125U：900N／本）

<table>
<tr><th rowspan="2">打ち込みピン
固定 ピッチ
（定尺4m）</th><th colspan="4">壁自重に対する制限高さ</th></tr>
<tr><th>GB-F t21×21
片面張り
393N/㎡(40kg/㎡)</th><th>GB-F t12.5×12.5
両面張り
450N/㎡(46kg/㎡)</th><th>GB-F t15×15
両面張り
525N/㎡(54kg/㎡)</th><th>GB-F t21×21
両面張り
714N/㎡(73kg/㎡)</th></tr>
<tr><td>@750mm以下
（2列×6箇所）</td><td rowspan="4">10m</td><td>9.0m</td><td>8.0m</td><td>6.0m</td></tr>
<tr><td>@650mm以下
（2列×7箇所）</td><td rowspan="3">10m</td><td rowspan="3">9.3m</td><td>6.5m</td></tr>
<tr><td>@600mm以下
（2列×8箇所）</td><td>7m</td></tr>
<tr><td>@500mm以下
（2列×8箇所）</td><td>8m</td></tr>
</table>

※ ヒルティピンは確実に打ち込む。

4, 施工手順

墨 出 し

建物の基準墨や地墨等より、施工図に基づき間仕切壁の芯墨、出入口等開口部位置の墨出しを行う。

↓

開口補強材 取付

・出入口等の開口補強は、補強材の許容強度等から開口幅2m迄とする。
・2m以上となる場合や重量物が取りつく場合等は、別途検討、もしくは鉄骨工事とする。
・地墨に合わせ開口補強材を取付ける。
縦補強材：
水平補強材：
□-125×125×3.2

(5, 開口補強仕様 参照)
建込み時にはウインチ等を使用して、安全に十分配慮し施工する。
作業内容に応じて、各種免許取得者が対応する必要がある。

↓

ランナー 取付

ランナー材を芯墨に合わせ、打ち込みピン等で端部は20～50㎜の位置で固定し、中間は所定間隔になる様2本/箇所で固定する。
別紙「打ち込みピン＜P-125TW＞水平荷重1Gに対するランナー固定基準」参照。

↓

スタッド寸法調整

・スタッド長さは上部ランナー上端より10㎜程度短いものとする。
・切断する際は、胴縁の貫通穴をそろえる。

↓

スペーサー（PMクリップ）取付

・PMクリップ125をスタッドの端部に留付け、中間は＠600㎜程度に取付ける。
・最後に正しく取付けているか、モレはないかをチェックする。

↓

スタッドの建込み

・スタッドピッチは、施工図及び強度検討書に基づき建込む。
・長尺材であるため、建込みの際はウインチ等を使用し、安全に十分留意して施工する。

↓

胴縁の取付

・胴縁は床面から＠1200㎜に設ける。
ただし上部ランナーから400㎜以内に 胴縁が位置する場合は、その胴縁を省略することができる。
（Max 1600㎜）
・胴縁は、フランジ面を上向きに取付けてスタッド貫通穴に通して、建込みピッチを調整し、PMクリップ125を確実に嵌合させる。

（注）**（吉野石膏 Sウォールは認定上、胴縁を全て＠1200㎜で取付ける。また上部スラブから400㎜以下に胴縁が位置しても、省略することはできない仕様もある為、認定書を必ず確認する事。）**

↓

自主検査

↓

次工程へ

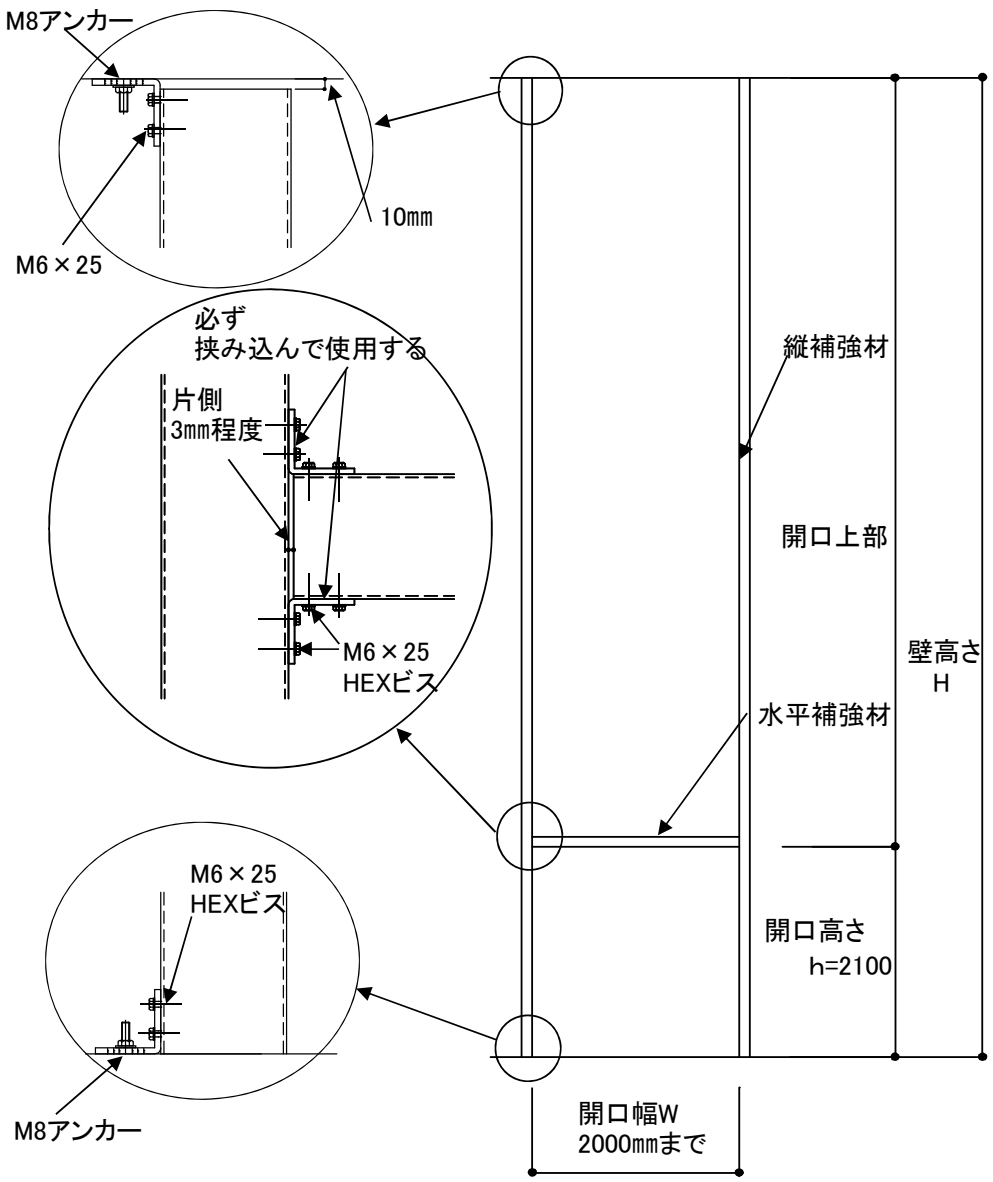
5, 開口補強仕様 （ダクト開口補強を含む）
開口補強材は、以下の部材を使用する。

・縦補強材：
・水平補強材：
} □-125×125×3.2

ダクト開口補強も基本的に全て同様とする。これは、開口部上下のスタッドが受ける荷重を負担する為で、スタッドを切断する場合、必ず補強材を用いること。

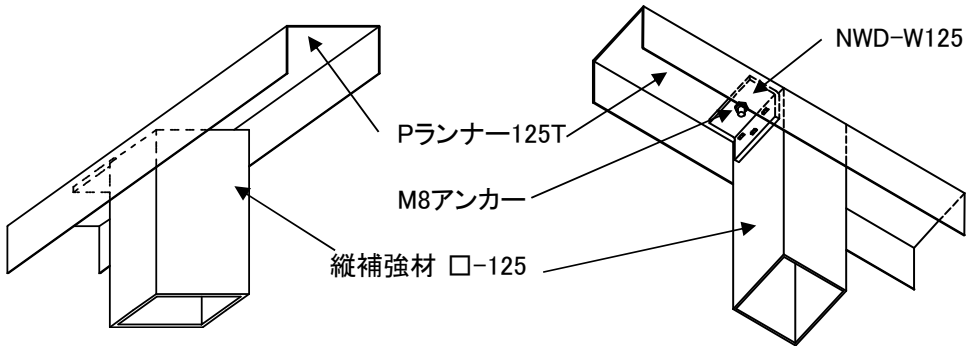
※ 開口補強材は錆止め塗装品（JIS K 5674 ）となる。
在庫及び、工場での寸法カットは納期確認が必要。

・**水平補強材は幅 2m迄とし、それ以上は別途検討、もしくは鉄骨工事とする。**
・補強材の接合部は取付金物 NWD-W125 を使用して、M6×25 HEXビスで所定の本数で固定する。（ **別紙「P-125TW 開口補強材　仕様一覧」参照** ）
・水平補強材と縦補強材の接合部は、必ず上下で挟み込んで固定する。
・スラブの場合は、M8アンカーでNWD-W125を固定する。



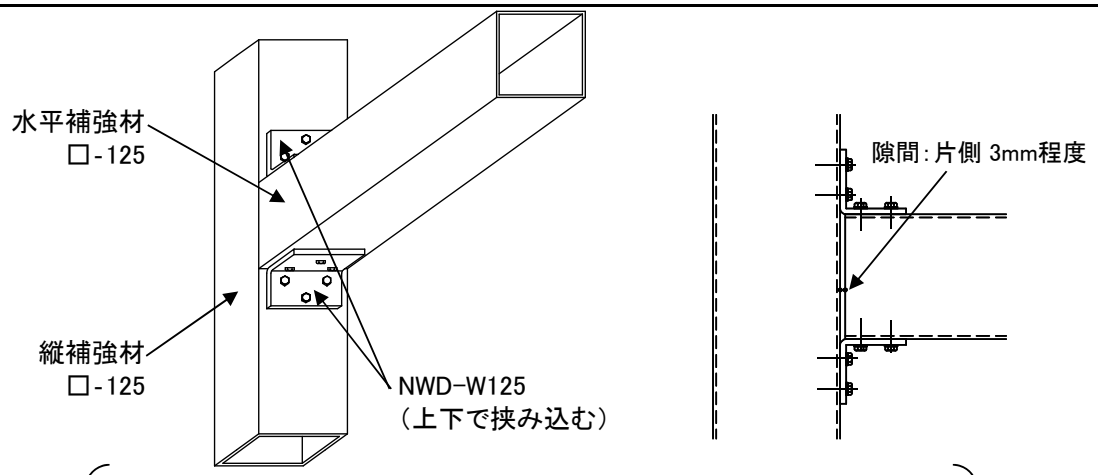
＜開口補強材　取付要領＞

1，上側スラブ固定部



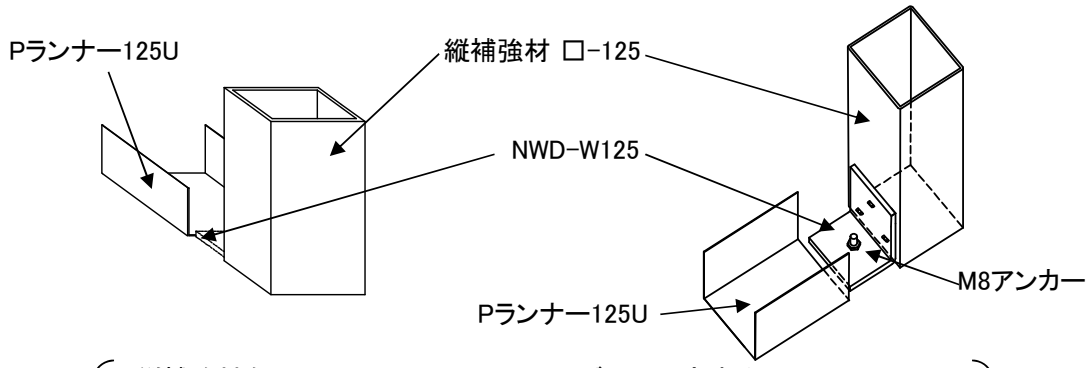
・縦補強材を、NWD-W125にM6×25 HEXビスで固定する。
（ 別紙「P-125TW 開口補強材　仕様一覧」参照 ）
・スラブにはM8アンカーでNWD-W125を固定する。

2，水平材固定部



・壁荷重によりM6×25 HEXビスで固定する。
（ 別紙「P-125TW 開口補強材　仕様一覧」参照 ）
・水平補強材と縦補強材の接合部の隙間は、片側 3mm程度とする。

3，下側スラブ固定部



・縦補強材を、NWD-W125にM6×25 HEXビスで固定する。
（ 別紙「P-125TW 開口補強材　仕様一覧」参照 ）
・スラブにはM8アンカーでNWD-W125を固定する。

6, 注意事項

a, 搬入・納入

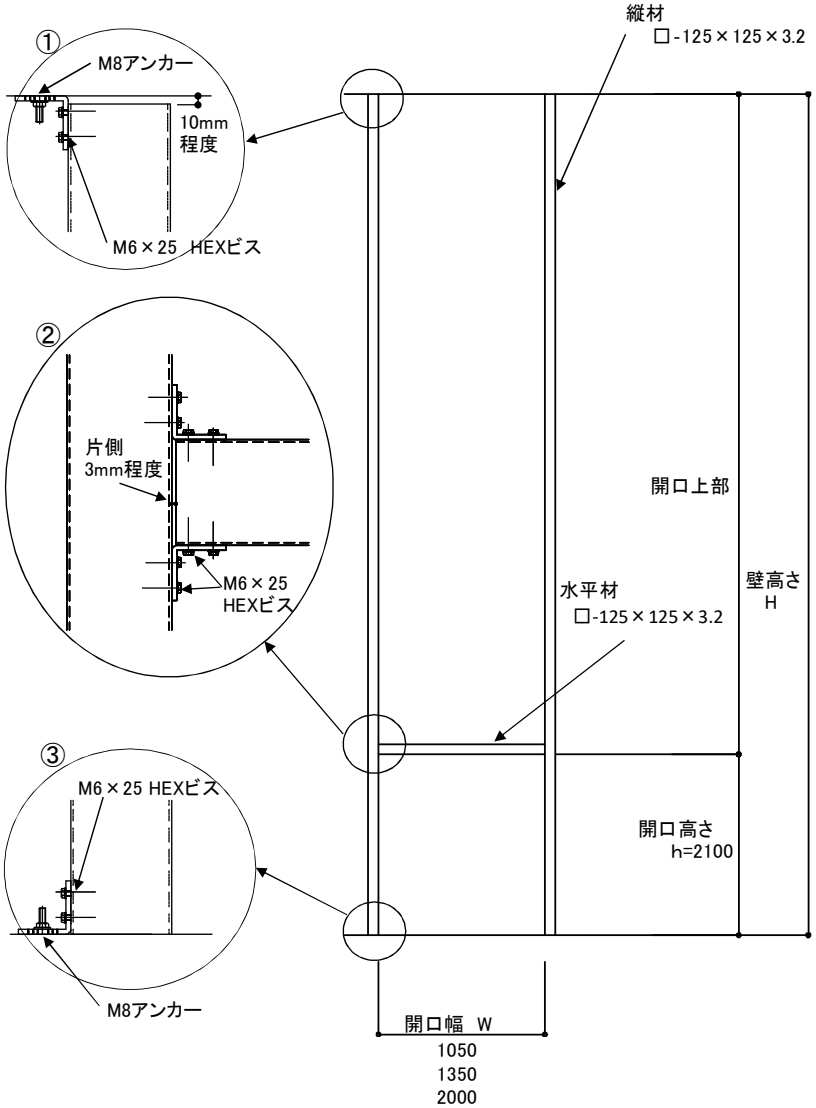
6m～9.5mまでの部材は10t車、それ以上の長さはトレーラーでの運搬となる為、
現場への搬入路、荷降ろし方法等は、周辺の規制や許可も含め、現場との打合せが必要。
（クレーン、レッカー等は結束重量、方法を確認し、指示する必要あり）

b, 建込み時

最長10mの長尺材で重量も重くなる為、建込み時にはウインチ等を使用して安全に
十分配慮し施工する。作業内容に応じて、各種免許取得者が対応する必要がある。
＜参考重量＞　P-125TW：14.5N/m（1.48kg/m）

水平荷重 1G時　P-125TW 開口補強材　仕様一覧

2021/11/10



＜Sウォール＞ GB-F 21+21 片面張

単位重量:393N/㎡

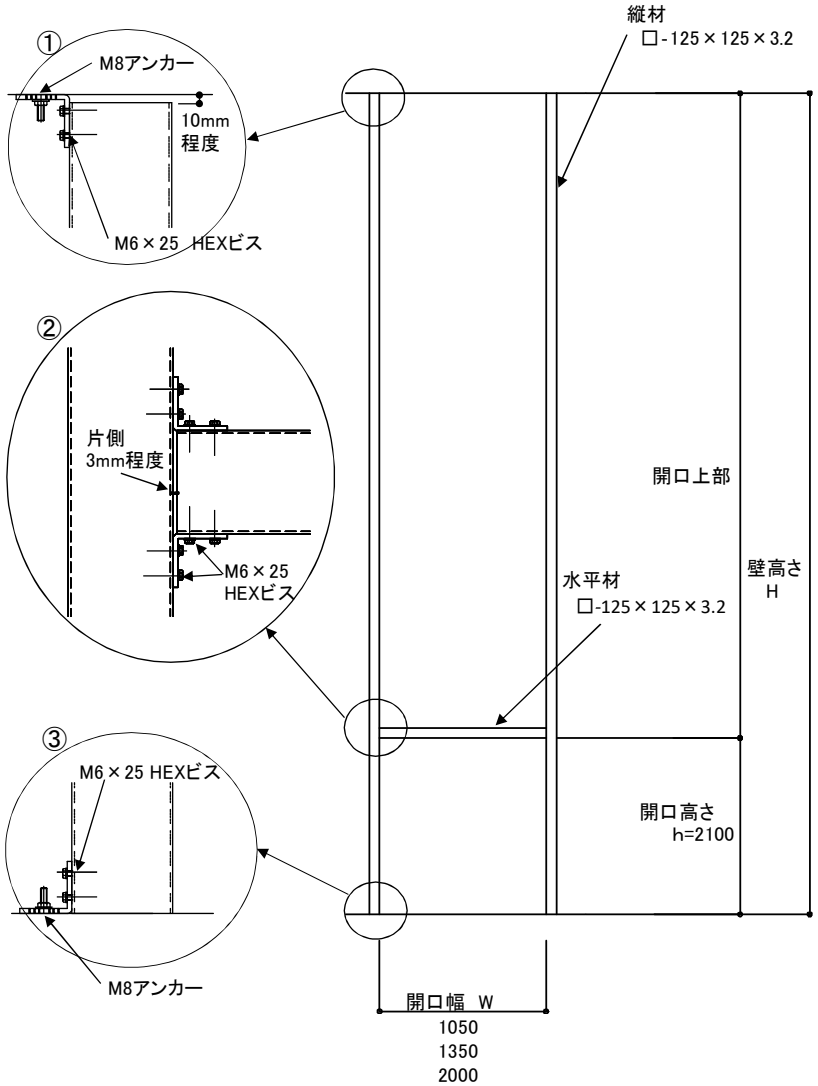
	開口幅		W=1050mm以下		W=1350mm以下		W=2000mm以下
	水平材		□-125×125×3.2				
壁高さ	H=6000mm以下	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:2本	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:2本	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:2本
		②	上側・M6×25 HEX:2本×2 下側・M6×25 HEX:2本×2	②	上側・M6×25 HEX:2本×2 下側・M6×25 HEX:2本×2	②	上側・M6×25 HEX:2本×2 下側・M6×25 HEX:2本×2
		③	M8アンカー M6×25 HEX:2本	③	M8アンカー M6×25 HEX:2本	③	M8アンカー M6×25 HEX:2本
	H=7000mm以下	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:2本	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:2本	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:2本
		②	上側・M6×25 HEX:2本×2 下側・M6×25 HEX:2本×2	②	上側・M6×25 HEX:2本×2 下側・M6×25 HEX:2本×2	②	上側・M6×25 HEX:2本×2 下側・M6×25 HEX:2本×2
		③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:2本	③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:2本	③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:2本
	H=8000mm以下	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本
		②	上側・M6×25 HEX:3本×2 下側・M6×25 HEX:3本×2	②	上側・M6×25 HEX:3本×2 下側・M6×25 HEX:3本×2	②	上側・M6×25 HEX:3本×2 下側・M6×25 HEX:3本×2
		③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本	③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本	③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本
	H=9000mm以下	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本
		②	上側・M6×25 HEX:3本×2 下側・M6×25 HEX:3本×2	②	上側・M6×25 HEX:3本×2 下側・M6×25 HEX:3本×2	②	上側・M6×25 HEX:3本×2 下側・M6×25 HEX:3本×2
		③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本	③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本	③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本
	H=10000mm以下	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本
		②	上側・M6×25 HEX:3本×2 下側・M6×25 HEX:3本×2	②	上側・M6×25 HEX:3本×2 下側・M6×25 HEX:3本×2	②	上側・M6×25 HEX:3本×2 下側・M6×25 HEX:3本×2
		③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本	③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本	③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本

＜注＞　**・当社では部材の安定を考慮し、NWD-W125を固定するM6×25HEXビスは3本以上の使用を推奨する。**
・開口幅　W＝2000mm以上は、検討を必要とする。
・開口高さはh＝2100mm以上とする。

株式会社オクジュー
技術室

水平荷重 1G時 P-125TW 開口補強材 仕様一覧

2021/11/10



＜S12＞ GB-F 12.5+12.5 両面張

単位重量:450N/㎡

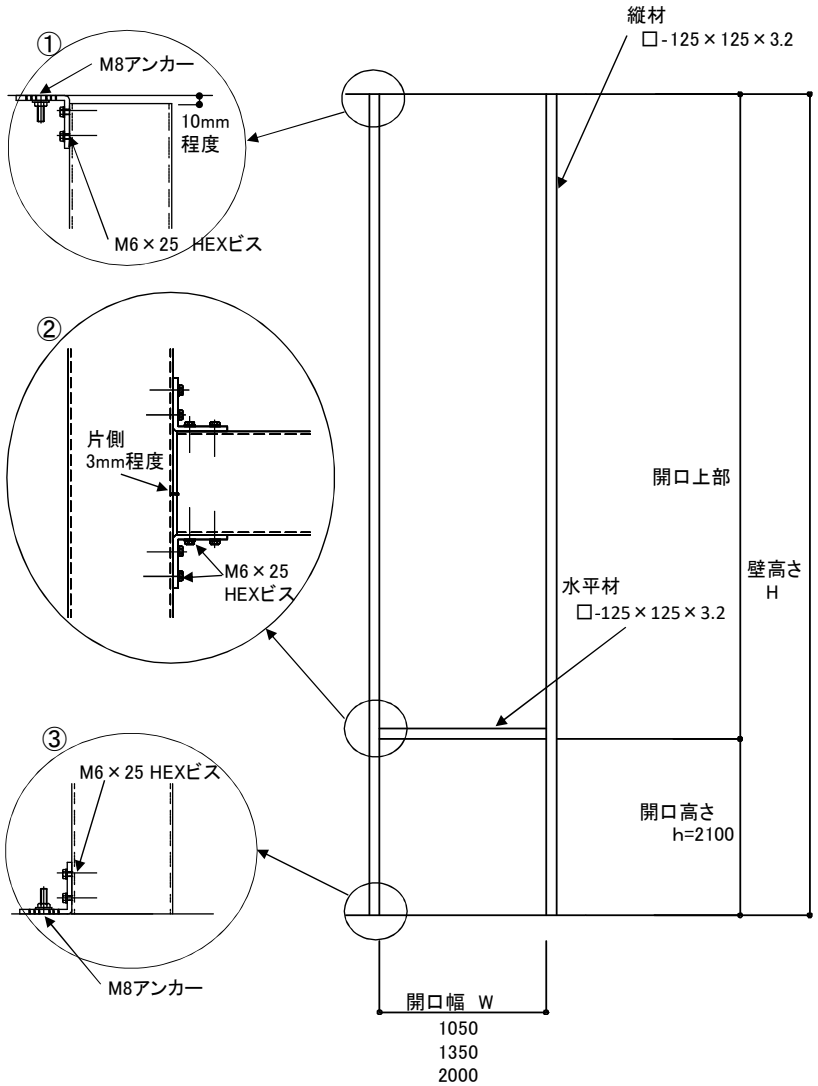
	開口幅	W=1050mm以下		W=1350mm以下		W=2000mm以下	
	水平材	□-125×125×3.2					
壁高さ	H=6000mm以下	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:2本	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:2本	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:2本
		②	上側・M6×25 HEX:2本×2 下側・M6×25 HEX:2本×2	②	上側・M6×25 HEX:2本×2 下側・M6×25 HEX:2本×2	②	上側・M6×25 HEX:2本×2 下側・M6×25 HEX:2本×2
		③	M8アンカー M6×25 HEX:2本	③	M8アンカー M6×25 HEX:2本	③	M8アンカー M6×25 HEX:2本
	H=7000mm以下	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:2本	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:2本	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:2本
		②	上側・M6×25 HEX:2本×2 下側・M6×25 HEX:2本×2	②	上側・M6×25 HEX:2本×2 下側・M6×25 HEX:2本×2	②	上側・M6×25 HEX:2本×2 下側・M6×25 HEX:2本×2
		③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:2本	③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:2本	③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:2本
	H=8000mm以下	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本
		②	上側・M6×25 HEX:3本×2 下側・M6×25 HEX:3本×2	②	上側・M6×25 HEX:3本×2 下側・M6×25 HEX:3本×2	②	上側・M6×25 HEX:3本×2 下側・M6×25 HEX:3本×2
		③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本	③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本	③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本
	H=9000mm以下	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本
		②	上側・M6×25 HEX:3本×2 下側・M6×25 HEX:3本×2	②	上側・M6×25 HEX:3本×2 下側・M6×25 HEX:3本×2	②	上側・M6×25 HEX:3本×2 下側・M6×25 HEX:3本×2
		③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本	③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本	③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本
	H=10000mm以下	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本
		②	上側・M6×25 HEX:3本×2 下側・M6×25 HEX:3本×2	②	上側・M6×25 HEX:3本×2 下側・M6×25 HEX:3本×2	②	上側・M6×25 HEX:3本×2 下側・M6×25 HEX:3本×2
		③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本	③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本	③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本

＜注＞ **・当社では部材の安定を考慮し、NWD-W125を固定するM6×25HEXビスは3本以上の使用を推奨する。**
・開口幅 W＝2000mm以上は、検討を必要とする。
・開口高さはh＝2100mm以上とする。

株式会社オクジュー
技術室

水平荷重 1G時 P-125TW 開口補強材 仕様一覧

2021/11/10



＜B15＞ GB-F 15+15 両面張

単位重量:525N/㎡

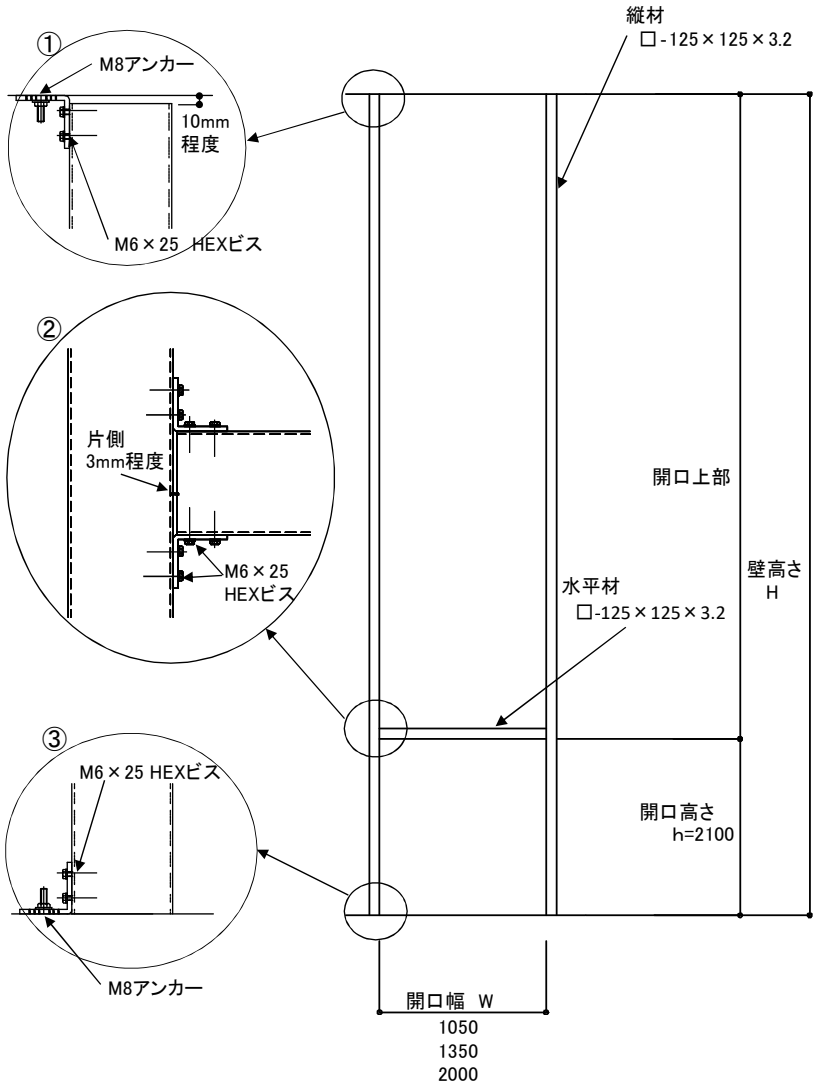
	開口幅		W=1050mm以下		W=1350mm以下		W=2000mm以下
	水平材		□-125×125×3.2				
壁高さ	H=6000mm以下	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:2本	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:2本	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:2本
		②	上側・M6×25 HEX:2本×2 下側・M6×25 HEX:2本×2	②	上側・M6×25 HEX:2本×2 下側・M6×25 HEX:2本×2	②	上側・M6×25 HEX:2本×2 下側・M6×25 HEX:2本×2
		③	M8アンカー M6×25 HEX:2本	③	M8アンカー M6×25 HEX:2本	③	M8アンカー M6×25 HEX:2本
	H=7000mm以下	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:2本	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:2本	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:2本
		②	上側・M6×25 HEX:2本×2 下側・M6×25 HEX:2本×2	②	上側・M6×25 HEX:2本×2 下側・M6×25 HEX:2本×2	②	上側・M6×25 HEX:2本×2 下側・M6×25 HEX:2本×2
		③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:2本	③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:2本	③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:2本
	H=8000mm以下	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本
		②	上側・M6×25 HEX:3本×2 下側・M6×25 HEX:3本×2	②	上側・M6×25 HEX:3本×2 下側・M6×25 HEX:3本×2	②	上側・M6×25 HEX:3本×2 下側・M6×25 HEX:3本×2
		③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本	③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本	③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本
	H=9000mm以下	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本
		②	上側・M6×25 HEX:3本×2 下側・M6×25 HEX:3本×2	②	上側・M6×25 HEX:3本×2 下側・M6×25 HEX:3本×2	②	上側・M6×25 HEX:3本×2 下側・M6×25 HEX:3本×2
		③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本	③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本	③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本
	H=10000mm以下	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本
		②	上側・M6×25 HEX:3本×2 下側・M6×25 HEX:3本×2	②	上側・M6×25 HEX:3本×2 下側・M6×25 HEX:3本×2	②	上側・M6×25 HEX:3本×2 下側・M6×25 HEX:4本×2
		③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本	③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本	③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本

＜注＞ **・当社では部材の安定を考慮し、NWD-W125を固定するM6×25HEXビスは3本以上の使用を推奨する。**
・開口幅 W＝2000mm以上は、検討を必要とする。
・開口高さはh＝2100mm以上とする。

株式会社オクジュー
技術室

水平荷重 1G時　P-125TW 開口補強材　仕様一覧

2021/11/10



＜A21＞ GB-F 21+21 両面張

単位重量:714N/㎡

	開口幅		W=1050mm以下		W=1350mm以下		W=2000mm以下
	水平材		□-125×125×3.2				
壁高さ	H=6000mm以下	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:2本	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:2本	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本
		②	上側・M6×25 HEX:2本×2 下側・M6×25 HEX:2本×2	②	上側・M6×25 HEX:2本×2 下側・M6×25 HEX:2本×2	②	上側・M6×25 HEX:3本×2 下側・M6×25 HEX:3本×2
		③	M8アンカー M6×25 HEX:2本	③	M8アンカー M6×25 HEX:2本	③	M8アンカー M6×25 HEX:3本
	H=7000mm以下	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:2本	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:2本	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本
		②	上側・M6×25 HEX:2本×2 下側・M6×25 HEX:2本×2	②	上側・M6×25 HEX:2本×2 下側・M6×25 HEX:2本×2	②	上側・M6×25 HEX:3本×2 下側・M6×25 HEX:3本×2
		③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:2本	③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:2本	③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本
	H=8000mm以下	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本	①	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本
		②	上側・M6×25 HEX:3本×2 下側・M6×25 HEX:3本×2	②	上側・M6×25 HEX:3本×2 下側・M6×25 HEX:3本×2	②	上側・M6×25 HEX:3本×2 下側・M6×25 HEX:3本×2
		③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本	③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本	③	M8アンカー:1本 M6×25 HEX:3本
	H=9000mm以下						
	H=10000mm以下						

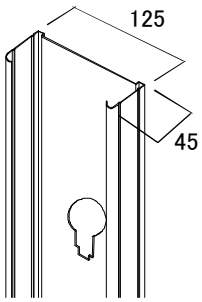
＜注＞　**・当社では部材の安定を考慮し、NWD-W125を固定するM6×25HEXビスは3本以上の使用を推奨する。**
・開口幅　W＝2000mm以上は、検討を必要とする。
・開口高さはh＝2100mm以上とする。

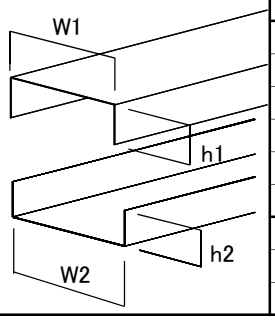
株式会社オクジュー
技術室

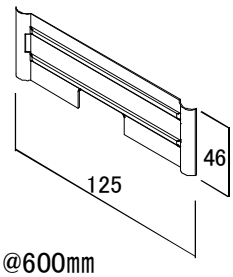
P-125TW　1G仕様材料リスト

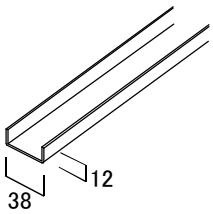
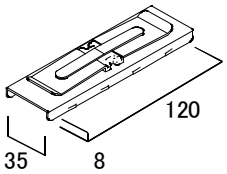
2021/11/10

□鋼製壁下地材

品目名		商品名	規格	定尺
スタッド		P-125TW	125×45×10×0.8	各寸法
		材質	JIS　G　3302	
		表面処理	溶融亜鉛メッキ	
		付着量	Z12	

品目名		商品名	規格	定尺
ランナー		Pランナー125T	W1：127.5×h1：50×1.2	L=4,000
		Pランナー125U	W2：127×h2：40×0.8	L=4,000
		材質	JIS　G　3302	
		表面処理	溶融亜鉛メッキ	
		付着量	Z12	

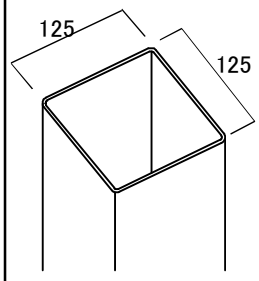
品目名		商品名	規格	定尺
スペーサー	 @600mm	クリップPM-125	125×46×0.8	
		材質	JIS　G　3302	
		表面処理	溶融亜鉛メッキ	
		付着量	Z12	

品目名	胴縁	ジョイナー		
商品名	N-38.2	ジョイナーN-38		
				
規格	C-38×12×1.2			
定尺	4m・5m			
材質	JIS　G　3302	JIS　G　3302		
表面処理	溶融亜鉛メッキ	溶融亜鉛メッキ		
付着量	Z12	Z12		

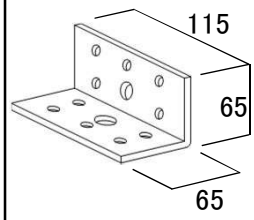
P-125TW　1G仕様材料リスト

2021/11/10

□開口補強材

品目名	開口補強材			
商品名				
125TW用				
規格	□-125×125×3.2			
定尺	6・8・10m			
材質	JIS　G　3466			
表面処理	JIS K 5674 塗装品			
付着量	-			

※JIS K 5621は、H22年度国交省仕様書より記載されておりません。
ご入用の際はお問い合わせ下さい

品目名	取付金具			
商品名	NWD-W125			
				
規格	L-65×65×6			
定尺	L=115㎜			
材質	JIS　G　3101			
表面処理	電気亜鉛メッキ			
付着量	2μ			

品目名				
商品名				
規格				
定尺				
材質				
表面処理				
付着量				

使用材料リスト

2021/11/10

□鋼製壁下地材

品目名	商品名	規格	定尺	材質	表面処理	付着量
スタッド	P-125TW	125×45×10×0.8	各寸法	JIS G 3302	溶融亜鉛めっき	Z12
ランナー	P-ランナー125T	127.5×50×1.2	4000	JIS G 3302	溶融亜鉛めっき	Z12
ランナー	P-ランナー125U	125×40×0.8	4000	JIS G 3302	溶融亜鉛めっき	Z12
スペーサー	PM-125	125×46×0.8	-	JIS G 3302	溶融亜鉛めっき	Z12
胴縁	N-38.2	38×12×1.2	4000	JIS G 3302	溶融亜鉛めっき	Z12
胴縁	N-25.2	25×10×1.2	4000	JIS G 3302	溶融亜鉛めっき	Z12
ジョイナー	ジョイナー N-38	120×35×8×1.0	-	JIS G 3302	溶融亜鉛めっき	Z12
ジョイナー	ジョイナー N-25	50×28.3×8×1.0	-	JIS G 3302	溶融亜鉛めっき	Z12
開口補強	角パイプ	□-125×125×3.2	-	JIS G 3466	JIS K 5674	-
取付金物	NWD-W125	L-65×65×6	115	JIS G 3101	電気亜鉛めっき	2μ

※JIS K 5621は、H22年度国交省仕様書より記載されておりません。
ご入用の際はお問い合わせ下さい